

傳設計ニュースレター

CONTENTS

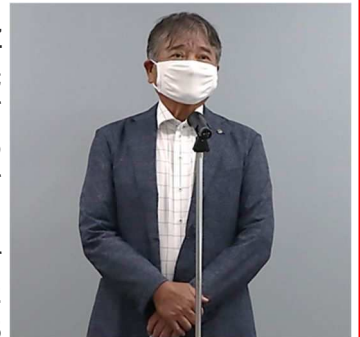
- ◆ 今、伝えたいこと
～これからの設計に必要なこと～
- ◆ 傳設計が目指す
高級建売分譲住宅
- ◆ プロポーザルでの
新しい試み
- ◆ 熊本より完成報告
～本妙寺仁王門補強計画～
- ◆ こどもたちに良質を
～株式会社西尾家具工芸社様～
- ◆ なごみ食堂新企画！
- ◆ 若手社員の交流会
- ◆ 社員名鑑



今、伝えたいこと ～これからの設計に必要なこと～

新年明けましておめでとうございます。卯年の2023年、跳ねあがるうさぎのように、私たちの生活が向上する一年になることを願いたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨今「カーボンニュートラル」、「省エネ」、「ZEB」といった言葉をよく目にするようになりました。先日、社員にこれらは意匠、構造、設備を問わず全ての設計に織り込むべきであり、積極的に学んでほしいと伝えました。設計者として、今後、避けて通れないキーワードであるからです。2015年のパリ協定を受け、世界各国が脱炭素社会の実現に向けて本格的に取り組むようになりました。日本では2020年、当時の菅首相が所信表明演説において「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロに



★今年もよろしくお願いいたします★

する。すなわち、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言しています。このカーボンニュートラルの実現に向けた取組みの一つとして、省エネが推進されており、特にエネルギー消費の約3割を占めている建築物分野での省エネ対策が加速しています。具体的には、改正建築物省エネ法により、2021年4月から省エネ基準の適合義務対象が一部拡大されましたが、2025年4月からは、原則全ての新築住宅・非住宅への義務付けなどが予定されています。更に省エネの性能についても、ZEB(ZEH)(net Zero Energy Building(House))水準の普及が進められており、2030年度以降の新築及び2050年にはストック平均で、ZEB水準の省エネ性能の確保を目指すという方針が発表されています。ZEBとは「室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物」です。弊社でも以前のニュースレターの設計業務TOPIXでご紹介しましたが、某物件改修等検討業務の際にはBIMモデルを活用して省エネ計算を行い、ZEB化の検討を行いました。

カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた大きな流れと、それに伴う建築物の省エネ性能がより高く求められる時代の到来をひしひしと感じ、これらと真摯に向き合っていかなければならないと考えています。(代表取締役 岩本 茂美)

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

今はこの企業(業種)もDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に取り組まれていることと思います。かくいう建築分野も例外ではなく、私もDXの波に乗り遅れて生きた化石(-_-;)とならないよう、BIM活用による設計DXなど最近専ら考えを巡らせています。



★傳設計が目指す高級建売分譲住宅★

福岡市東区香住ヶ丘にある100坪弱の敷地に建売分譲住宅を計画中です。敷地を2つに分筆し、2棟の住宅を新築する予定です。計画地の周辺には、西鉄貝塚線とJR鹿児島本線が通っており、駅まで徒歩で移動が可能な立地です。前面道路は南側にあり、3方を住宅に囲まれています。そのため、外に向けて開放的にするのではなく、2階の中央にルーフバルコニーを設け、それを囲むように居室を配置することで、周辺からの視線を遮りながらも開放感を担保することをコンセプトとしました。

計画当初は、若年層の一般的な子育て夫婦世帯をターゲットとして検討していました。しかし、香住ヶ丘エリアは閑静な住宅街であり、一昨年末閉園となった香椎花園跡地の今後の再開発への期待の高まりに

よって香住ヶ丘の地価の上昇が予想されています。そのような状況を考慮し、ターゲット層を変更しました。住宅の設計内容を見直して、ゆったり広々としたホテルのようなお風呂や洗面化粧台を設け、トイレは各階に備えました。また、ルーフバルコニーに面してアイランドキッチンを採用したLDKを配置することで、開放感のある家族団欒の空間を演出しています。1階にはビルトインガレージを採用しました。車が2台駐車可能な広さを確保していますので、駐車だけでなくDIY空間としての

利用、趣味のバイクや自転車の手入れ等、自分好みの使い方ができる魅力ある空間となっています。

現在は基本設計を行っており、今後はBIMを利用して実施設計を行う予定です。実績豊富な建築士数名が何度も検討を重ね、何度も変更をして、ようやくプランが固まってきました。実際の住宅の完成はもう少し先になりますが、皆様にお披露目できる日が来ることを楽しみにしています。(藤田・太田)



傳設計 設計業務

この度弊社では某金融機関の支店新築工事のプロポーザルに参加しました。通常は文章主体で構成が分かる程度のイメージ図を入れた提案書を作成するのですが、今回は1次提案として明確な図面、2次提案として追加表現自由の提案発表が求められました。

そこで、これまでの提案書よりお客様に伝わりやすくなるよう、初めての試みとして、イメージ動画の作成を行いました。今まで作成してきたイメー

ジパースでは固定された画角で撮影される部分に注力してきましたが、動画ではカメラの移動とともに注視する部分が変わります。これまで見えなかった敷地や周辺環境、建物の細部等の作り込みも多く要求されました。

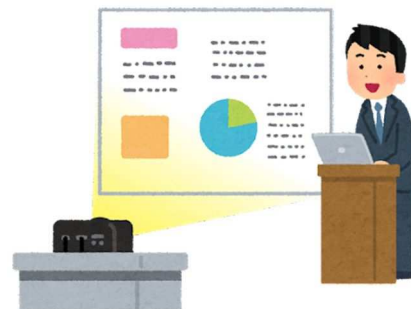
動画作成には入社2年目の私と1年目の社員の2名で社内研修で学んだモデリング技術を活かし、素材の見え方や納まりに関する知識等の不足している部分を先輩方にご教示いただきながら業務にあたりました。BIMを動画作成に活用し、表現方法の幅を広げるなど、率先して新しいことに挑戦する中で、自分達の技術が向上し自信に繋がりました。

弊社には新しい技術を取り入れる際に、若手社員が中心となって挑戦できる風土があり、それぞれが活躍の場を新たに生み出しています。今



後はプロポーザルだけではなく、設計業務の際のお客様との打合せでも、動画による提案を積極的に活用していきたいと考えています。

そのために、もっと知識を蓄えて提案の幅を広げ、技術を磨いて、よりお客様に伝わりやすい提案の見せ方を目指していきたいと思ひます。(指方)



★プロポーザルでの新しい試み★

★熊本より完成報告 ～本妙寺仁王門補強計画～★

皆様ご無沙汰しております。今回は本妙寺仁王門の復旧・補強工事についての記事、最終回です。一昨年の10月から工事が始まり、過去に第38号、第42号のニュースレターでもその進捗を取り上げてきましたが、令和4年10月末日に工事の全工程が終了したことをご報告いたします！

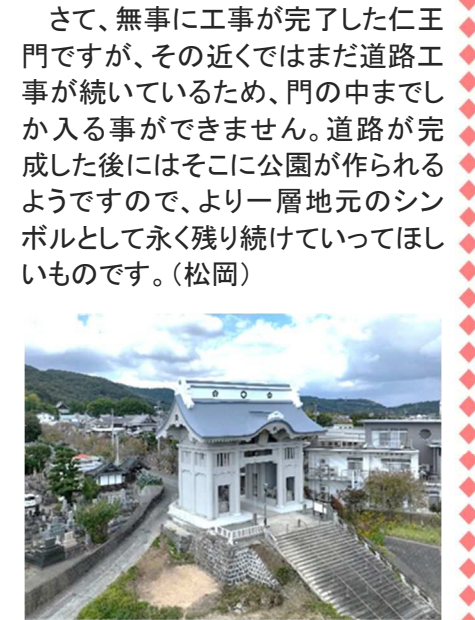
地元の方々もそばを通るたびに中を見回したり写真を撮るなどされていて、その光景を見ていると「これは地元のシンボルですから、この仕



★東面見上げ撮影★

事に関わることができるのは嬉しい事です」と笑っていた現場の人を思い出します。「建設業は地図に残る仕事ができる」というのはよく聞く文句ですが、こうした歴史に残る建築物の補強設計や現場監理に全体を通して携わり、完成した今になってようやくそのことを実感できたように思います。それと同時に、弊社に力を貸してくださった方々(大学の先生や熊本市の職員の皆様など)のおかげもあってこれほどの一大プロジェクトを完遂することができ

ただ、という事を強く感じています。この業務を通してご助力をいただいた皆様方には改めて感謝を申し上げます。さて、無事に工事が完了した仁王門ですが、その近くではまだ道路工事が続いているため、門の中までしか入る事ができません。道路が完成した後はそこに公園が作られるようですので、より一層地元のシンボルとして永く残り続けていってほしいものです。(松岡)



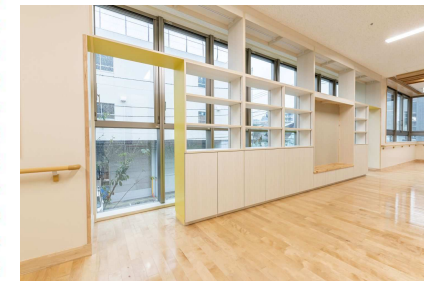
★南東面の空撮★

NEW&HOT

TOPIX

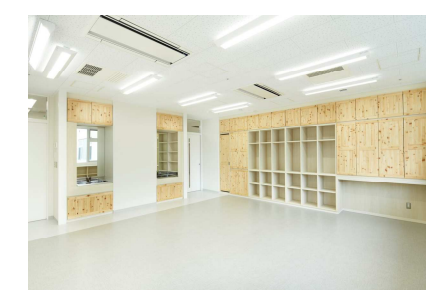
現在、弊社では特別支援学校の設計を行っています。今回は、その業務でご協力いただいている西尾家具工芸社様にお話を伺いました。

「西尾家具工芸社は『こどもたちに良質を』を理念とし、プランニングから設計・施工まで創業以来70年以上の経験やノウハウを活かし、利用者寄り添い様々なニーズに対応した教育施設家具をご提供してきました。(写真1)



★写真1★

特別支援学校を例に挙げると、さまざまな障害を持っているこどもたちのために、収納は整理の仕方、作業台は活動の場として自立の手助けになるよう『安全で快適』に使用できる家具とレイアウトの提案が必要となります。(写真2)



★写真2★

また、本体主材では環境貢献も配慮しており『ニシオECOボードプラス』は木質資源を活用したパーティクルボードでVOC(揮発性有機化合物)放散量も限りなく「ゼロ」に近づ

けた上「日本の伝統色」と「高意匠木目柄」で意匠性を探求しております。『ウッドイリーズ』は国産ヒノキ間伐集成材を使用することで、カーボンニュートラルへの取り組みと、木質化の教室づくりに貢献でき、無垢の「木」ならではの温もりで、こどもたちに安らぎを与えてくれます。

その他、HP・VRショールーム・公式Instagramでも最新情報を発信しております。是非ご確認下さい。」毎日こどもたちが使う学校家具。安全・快適さ・環境面に配慮してあると安心して学校生活を送ることができますね。(宮地)



★ぜひチェックしてみてください★

★こどもたちに良質を ～株式会社西尾家具工芸社様～★

★なごみ食堂新企画！★

社員食堂を一般の方に開放した「なごみ食堂」はオープンから半年以上が経ち、少しずつではありますが、地域の方々に認知され始めています。一方で、接客はとて難しく、多くの方が来られたりするとレジの手順を間違えないように、そしてお客様を待たせないようにとドキドキしています。

今回は「なごみ食堂」の新企画を紹介します。寒くなる季節に向け「味噌汁定食の日」を始めました。「味噌汁定食の日」は、12月から3月までの毎週金曜日に実施します。「味噌汁」がメインの献立で、どんぶりの味噌汁、おにぎり2個、小鉢2種という内容です。大きく切った食べ応えのある野菜やお肉がたっぷり入っており、1日に必要な野菜の1/2量と、たんぱく質もしっかり摂れます。12月は、大きな豚肉の入った豚汁でした。1月は、大きな鶏肉の入ったさつまつ汁です。

ますます寒くなってきます。お昼のひと時、お近くにおいでの際はぜひ熱々の「味噌汁定食」で体を温めてください！お待ちしております！（岩本(玲)）



★味噌汁定食（12月）★

社員名鑑 vol.45



氏名:真弓 いぶき

社歴:4年

所属:総務部

主な業務:経理

趣味:おいしいものを食べる

昨年10月に友人と京都に旅行へ行ってきました。京都といえは観光名所がたくさんありますが、私も友人も食べるのが一番の幸せ！という思いが一致し、行きたくったご飯屋さんやカフェを巡るとい、まさに食い倒れの旅となりました。まだまだ行きたいご飯さんがたくさんありましたので、近いうちにまた行きたいと思ひます。ちなみに帰ってきてから体重計には乗っていません…。

傳設計に入社して丸4年が経ちます。主に経理業務を担当しており、現在は今年の10月からのインボイス制度施行のために準備をしております。また、去年は新しい業務にも携わることとなり、目まぐるしい1年となりました。今年も弊社に貢献できるよう頑張ります！

★若手社員の交流会★

弊社では毎年、協力会社様と弊社の若手社員の間で交流会を開催しています。新型コロナウイルスの流行を受け、開催を断念せざるを得ない年が続きましたが、久しぶりの開催に向けて、交流会幹事による企画会議を行いました。この会は、企画・運営も若手社員で行います。

今年幹事を務める私達は、交流会初参加でもあるため、大変わくわくした気持ちで企画を行っています。昨年、実現は叶わなかったものの、山登りやものづくり体験等、アクティブな活動を希望する声が多く挙がっていたことをヒントに、今年も体を動かしながら、交流を深められる内容で企画を進めています。

この会をきっかけに、協力会社様・傳設計の若手社員同士が会社の垣根を超えてコミュニティを広げ、業務でも支え合える関係を築けていけたら良いと考えています。また、幹事として会を成功させることで、私達自身も企画・運営のスキルを高め、業務に生かしていきたいと感じています。(指方、山口(真))



★博多人形絵付け体験
(過去交流会)★



★陶芸体験 (過去交流会)★

◆ 編集後記///明けておめでとうございます。今年のはうさぎ(卯)年ですね。うさぎの目は顔の横にあるため視野が広く、ほぼ360度見渡すことができるそうです。私もうさぎのように幅広い視野で物事を見て考えることができるようになりたいものです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。/アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただけましたら、幸いです。 (服部)



「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH. & ENG. OFFICE

〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル

TEL:092-737-1500 (代表)

FAX:092-737-1501

